

認知症看護認定看護師の
佐藤 千尋さんに聞きました♪

認知症ケアのポイント

“今”の情報と記憶の関係性とは！？

～記憶障害と見当識障害の関係～

1 見当識障害とは？

- ・「今はいつ」なのか
- ・「ここはどこ」なのか
- ・「目の前のひとが誰」なのか

など分からなくなってしまうこと

2 特に…“今”がいつなのか分からない

ことによっては…

過去・今(現在)・未来などの
時間の流れが分からなくなってしまう

3 記憶することに重要なこととは？



- ・いつ？(日にちや時間, 季節など)
- ・どこで？(場所)
- ・誰と？
- ・何をした など



☺ 記憶することによって
いつ・どこで・誰とという
情報＝見当識は重要です

4 というのも…分からなくなる順番とは？

見当識障害で分からなくなる順番は、時→場所→ひと と言われています

① 時 (時間や日にち・季節)

② 場所 (場所や空間)

③ ひと (ひとの見分け・自分自身も分からなくなってしまう)

☺ 時の情報や感覚を維持する
ことで進行を遅らせることも
大切な関わりです

5 そのために“今”の情報、特に時の感覚を補うことが必要となります



時計やカレンダーなどを
意識して生活をするのも
方法の1つ



☺ ポイント ☺
いつも居る場所から自然と視界
に入る・目に入る位置に時計や
カレンダーを設置します

時間の感覚を補う

日にちの感覚を補う

会話の中で、時計やカレンダーを使いながら情報を伝える

時計

- ・今、○時なので、△時になったら出掛けます
- ・今、○時なので、△時になったらトイレに行きましょう など

カレンダー

- ・“今日”が分かるように目印をつける
- ・予定を書き出す など

☺ “今”の情報を得ることによって、孤独や不安感は軽減されやすく、
混乱やせん妄などの予防にも繋がります